

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第十二話

「町内の社日さん」(要約文)

新冠には、「社日」という石碑が各地域に建立されています。

社日は、暦の上で用いられる入梅、八十八夜、土用、二百十日にもつとも近い戌の日をさし、春は五穀豊穰祈願、収穫を感謝する神、地域の鎮守神としても祭られています。この信仰は兵庫、徳島、香川県によく見られるようで、「しゃにち」という呼び方は淡路島での呼び慣わしで、他地域では「じちん」と呼んでいるようです。

石碑の基本形態は五角柱に神々を刻んでいます。板状碑に社日のみを刻んでいるものもあります。新冠町内では、現在のところ19基建立されており、太陽地区以外の全地域に見られ、明確な最古のものは東泊津での昭和15年のものとなっています。しかし、新和地区では大正時代には木柱であったということも聞いています。

この社日の普及については定かではありませんが、明治時代以降に徳島藩稲田家など、淡路衆の移住があることから、そうした人々によって伝えられた可能性があると思われまます。

地元において「社日」は広く知られていますが、実際に刻まれている神々について、

年配の方ならともかく若者はほとんど知らないし、関心もないと言えます。それは、これまでの学校教育において、神話のことを詳しくふれてこなかったからと考えられます。しかし、事実としての神話ではなく、日本民族が語り伝えてきた物語として教えることは必要なことと思えます。実際に民族学、考古学、日本古代史において知らなければなりませんし、地域の神社、社日さんを知る上でも知識として必要なことなのです。科学の発達した今日においても、地鎮祭、建前、厄年祈願、結婚式など、日本の神々とは身近な存在として接してきます。社日を通して神々についてふれてきましたが、皆さんも神話を知って古代のロマンにふれてみてはいかがでしょう。



「町内の社日」は2つのタイプに分けられる
 ・右：五角柱碑の社日
 (東泊津：昭和15年建立*町内最古の社日)
 ・左：板状碑の社日
 (万世：昭和32年建立)

～救うのは 一番近くの あなたの手～

- 呼吸や心臓が止まったら・・・心肺蘇生・AED(自動体外式除細動器)
 - のどにものが詰まったら・・・気道異物の除去
 - ケガや病気におそわれたら・・・応急手当
- 気軽に講習会を受講しましょう！まずは消防へ連絡⇒47-2666

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数
4月	1件(0件)	21件(25件)
1～4月	3件(0件)	109件(104件)

交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期

区分	発生件数	死者	傷者
4月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
1～4月	2件(2件)	0人(0人)	2人(3人)

人のうごき

(4月末現在)

人口 5,529人 (前月比 +34人)
 男 2,708人 (前月比 +14人)
 女 2,821人 (前月比 +20人)
 世帯 2,762世帯 (前月比 +19世帯)